

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一級河川太田川水系権地川支川通常砂防事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	B-Bo1-3(R3)	調査位置	広島県広島市安佐南区長束町	北 緯	34° 25' 44.5501"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 3月 9日～ 令和4年 3月 14日	東 経	132° 26' 29.4635"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 144.59m	角		方 向	
総削孔長	13.00m	度		地盤勾配	34° 鉛直 90° 水平
		使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B	
			エンジン	ヤンマー NFD12	
			ポンプ	東邦地下工機BG-3	

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 度 調 度	相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日			
											深度—N値図						深 度 (m)	試 料 番 号			採 取 方 法		
1			●●●●	砂		褐	rd1		非常に細かい砂からなる。砂分は粗粒砂やや優勢。細粒分を不均質に含む。細礫が存在する。表層付近は植物根が多い。		0	1.15	1	1	2								
2			●●●●								10	1.58	230	200	430								
3	141.69	2.90	++++						花崗岩の風化部。岩組織を残すが岩芯まで風化が著しく進行する。未固結の塊状コア主体で採取。全体に試料は指圧で崩れる程度。所々、高角度の亀裂面を残す。深度方向へ次第に固結する。深度6.6～7.7m間、褐色を帯びる。		20	2.15	1	1	3								
4			++++								30	2.45	3	3	4	10							
5			++++	強風化花崗岩		淡褐					40	3.15	3	3	4	10							
6			++++								50	3.45	3	3	4	10							
7			++++								60	4.15	3	3	4	10							
8			++++								70	4.45	5	6	6	17							
9			++++								80	5.15	5	6	6	17							
10	134.59	10.00	++++								90	5.45	7	8	9	24							
11			++++	風化花崗岩		淡褐灰			花崗岩 (軟岩相当)。岩組織を明確に残すが岩芯まで風化が進行する。岩片はハンマー打撃で濁音を発して、砕ける程度。全体に亀裂面は不明瞭。深度方向へ次第に固結する。	3/14 11.00	100	6.15	7	8	9	24							
12			++++								110	6.45	6	8	11	25							
13	131.59	13.00	++++								120	7.15	6	8	11	25							
14			++++								130	7.45	8	11	25	300							
15			++++								140	8.15	7	10	13	30							
16			++++								150	8.45	9	13	14	16	43						
17			++++								160	9.15	13	14	16	43	300						
18			++++								170	9.45	17	25	8	50	230						
			++++								180	10.05	17	25	8	50	230						
			++++								190	10.28	11.00	17	27	6	50	220					
			++++								200	11.22	12.00	26	24	40	50	140					
			++++								210	12.14	13.00	50			100						
			++++								220	13.10	13.10				100						